

松下幸之助経営塾

[第七期] 2014年2月開講

特別講師

※肩書きは、掲載当時のものです



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) 日本テレネット株式会社 取締役相談役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2002年より、同社代表取締役会長(兼)社長を務め、03年6月より、会長専任。06年6月より、相談役。11年7月より、名誉顧問。同7月より、日本テレネット株式会社取締役相談役。



横田英毅 (よこた・ひでき) ネットヨタ南国株式会社 取締役相談役

1943年生まれ。66年、日本大学理工学部卒業後、カリフォルニアシティカレッジ留学(～69年6月)。69年より西山グループ系列の宇治電化学工業(株)にて8年間、77年より同グループ系列四国車体工業(株)にて3年間勤務。80年、同グループ系列トヨタビスタ高知株式会社(現ネットヨタ南国株式会社)発足と同時に副社長、87年に同社代表取締役社長に就任。2010年より同社取締役相談役。ネットヨタ南国(株)では、経営トップとして同社を設立以来10年間、経営における重要テーマと考えた「人材」の問題に取り組むべく、自ら採用担当として現在の経営幹部の採用実務に携わった。以降、高知県産業界の人材にまつわる問題解決にあたるべく、「土佐経済同友会(2000年～2004年)」「高知県パワーカンパニー会議」「高知県経営品質協議会」などの代表幹事、高知県教育委員会が主導する「土佐の教育改革」委員などを務めながら「人づくり」に関する様々な提言を行なっている。また、ネットヨタ南国(株)は、既成の自動車ディーラーのビジネスモデルを大きく覆す斬新な事業運営で注目を集め、近年では日本全国のトヨタ販売会社(約300社)の中でお客様満足度ナンバーワンを連続達成。2002年には日本経営品質賞(中小規模部門)を受賞するなど、さらなる進化に向かってチャレンジを続けている。



三森 久美 (みつもり・ひさみ) 株式会社大戸屋ホールディングス 代表取締役会長

1957年 山梨県生まれ。71年に叔父の養子に入るため上京する。帝京高校卒業後、レストランを運営するフローラフーズに入社。79年に養父が他界し東京池袋の「大戸屋食堂」を継ぐ。83年に株式会社大戸屋を設立し社長に就任。92年「大戸屋ごはん処」吉祥寺店を全面改装し、その後のモデル店とする。2003年、外部法人によるフランチャイズ1号店を出店。05年タイ、バンコクに海外1号店を出店。11年に持ち株会社化し、会長兼社長に就任。12年4月から会長に専任し、現在は海外を中心に活動。



塚越 寛 (つかこし・ひろし) 伊那食品工業株式会社 代表取締役会長

1937年、長野県駒ヶ根市生まれ。伊那北高校を肺結核のため中退。58年、伊那食品工業株式会社に入社。83年、伊那食品工業株式会社代表取締役社長に就任。2005年3月、同社代表取締役会長に就任。相場商品だった寒天の安定供給体制を確立し、医薬、バイオ、介護食などに新たな市場を開拓した功績が認められ、1996年に「黄綬褒章」を受章。また、1958年の会社設立から48年間連続の増収増員増益を達成し、その財務内容および理念と実績、将来性などが総合的に高く評価され、2002年に、中堅・中小企業の優れた経営者を表彰する「優秀経営者顕彰制度」(日刊工業新聞社)の最高賞「最優秀経営者賞」を受賞。2007年、社団法人中小企業研究センターより「グッドカンパニー大賞」の最高賞「グランプリ」を受賞。2011年に「旭日小綬章」を受章。著書に『リストラなしの「年輪経営」』(光文社)、『いい会社をつくりましょう』(文屋)、『幸せになる生き方、働き方』(PHP研究所)、『幸福への原点回帰』(鍵山秀三郎との共著、文屋)がある。



埴 昭彦 (はなわ・あきひこ) 株式会社オフィスはなわ代表取締役社長、セブン&アイ HLDGS.顧問

1942年生まれ。64年、青山学院大学経済学部卒業。67年8月イトーヨーカ堂入社。85年、取締役オペレーションサポート部長、その後、常務取締役食品事業部長、衣料事業部長などを歴任。96年に、営業本部2万5000人の頂点に立つ専務取締役本部長から、部下のいない中国室長に転じた。中国総代表として店舗展開の礎をゼロから築き、現在では13店舗、売上高1000億円の規模に成長している。2007年セブン&アイ HLDGS.取締役、セブン&アイ・フードシステムズ代表取締役社長、2011年より現職。一貫して営業畑を歩んできたが、同社労働組合を結成したり、女子バレーボール部オーナー兼部長兼総監督として廃部寸前から常勝チームに導くなど、特異な経歴を持つ。一般財団法人徳育経営研究所理事長を兼務。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。

